



発行者

諫早市立真城中学校

校長 山内 昇

学校教育目標

- 広い心と公正な判断力のある、情操豊かな生徒を育成する。（徳育）
- 自ら求めて学び、豊かな知性を備え、創造力に富む生徒を育成する。（知育）
- 健康でたくましく、忍耐力に富む生徒を育成する。（体育）

○ 季節が移り変わっています！

今朝、家を出ると、かなり肌寒さを感じました。あれほど悩まされた猛暑の夏もようやく終わりを告げようとしています。しかし、それでも今日の最高気温は29℃なので、人間の感覚とは曖昧なものだと思い知らされます。

早いもので、令和7年度が4月にスタートしてから、半年が過ぎようとしています。マラソンで言えば、「折り返し地点」に差し掛かろうとしています。後半は、合唱交流会や市音楽祭（3年）、修学旅行（2年）、市内史跡・工業団地見学（1年）など大きな行事が待っています。生徒会選挙を終えれば、3年生は入試、そして卒業式が目の前に迫ってきます。充実した令和7年度の後半にするために、ここで少し立ち止まり、自分自身のこれまでの「歩みはどうだったか」を振り返ってほしいと思います。

さて、先週、夕方に雨が降り、雨上がりにグラウンドを見ると大きな虹が掛かっているのを見ることができました。夕日に照らされて、少しオレンジがかったのが印象的でした。真城中の生徒の皆さんに幸運が舞い降りる兆しであることを願っています。



○ 夏休みの作品（2・3年生）



現在、真城中の廊下は、ミニ美術館のように多くの作品が展示されています。先日は、1年生の「夏休みの思い出」を紹介しましたが、2・3年生の作品に目を向けると、そのレベルの高さに驚嘆しました！！すべてをご紹介できないのが残念ですが、その中の一部をご紹介します。



この2つの作品は、日常の何気ない出来事に目を向け、美しい作品に仕上げているのが印象的です。最近はどうもトウモロコシが美味しく感じるようになり、1本丸ごと食べてしまうことも少なくありません。また、下の夕日の作品は、「1日の終わり」と、「夏休みの終わり」を重ねた作品で、夏休み終盤の生徒たちの気持ちを素直に表しています。そう考えると、夕日の「赤色」に深みを感じます。



この作品を選んだのは、私もこの夏に「生くまモン」に会ってきたからです。大人気で、ステージ上のパフォーマンスも圧巻でした。人気が続くのも頷けます。諫早市の「うないさん」も、くまモンに負けないようにビッグになってほしいと思います。



生徒一人一人の個性が感じられる作品ばかりで、廊下で立ち止まる時間が、ついつい長くなってしまいます。真城中の2・3年生が、様々な視点で、自分の考えを豊かに表現する力が身に付いていることを実感することができました。

○ 今日の給食

今日（22日）の給食は、**つみれ汁**、**平つくね**、**ひじきと干し大根の含め煮**でした。野菜がたっぷり入っており、栄養満点のメニューでした。



AIに「**干し大根**」についてきいてみると、「天日干しによって栄養素が凝縮され、生の大根よりもカルシウム、鉄分、食物繊維、ビタミンB群が豊富に含まれています。主な効果としては、食物繊維の働きによる便秘解消と腸内環境の改善、カルシウムと鉄分による骨粗しょう症や貧血の予防、カリウムによるむくみや高血圧の予防が期待できます。」とのことでした。また、未開封であれば、半年から1年は保存可能とのことでした。昔の人の知恵には感心させれます。



ひじきのとの相性が良く、味もしっかり染み込んでおいしくいただくことができました。つくねも食べ応えがあり、和食のよさを再確認したメニューでした。